



若い群像

クリーム、チョコレートの甘い香りが店内いっぱいにひろがっている。

小柳まり子さんは、千成家製菓店の店員さん。女性あこがれの甘物と毎日を暮らしている。

花模様も美しい洋生ケーキ、カステラなど、思わずゴクリとのみ込む程、ウインドに並び、その中で小柳さんはいつも笑顔をたやさない。やさしい応待をする。

毎日、好きな物を見ているが、自分で作ったり売ったりするのといして食べたいとは思わないそうだ。

「やはり太るから?、というと本当はそうなんです。そうなるその後で困るから、といって健康そうなホホをピンクに染めた?。」

広報



'72

10月号

第175号